

授業科目名：生活空間学特論

科目コード	10B024
配当学年	修士課程
開講年度・開講期	後期
曜時限	水曜 2 時限
講義室	C2-213
単位数	2
履修者制限	無
授業形態	講義
使用言語	日本語
担当教員 所属・職名・氏名	竹山聖

授業の概要・目的

「建築理論／批評／思想」を考察するにふさわしいテキストや事例を選び、その講読や検証を通して、「建築という思考」の可能性を考察し、議論する。

成績評価の方法・観点及び達成度

出席、発表、レポート、議論への参加、提出物などを通して総合的に評価する。

到達目標

建築という思考についてその広がり概要を学び、建築設計における方法論の一端を修得する。

授業計画と内容

項目	回数	内容説明
建築という行為	1	建築という行為をめぐる建築理論／批評／思想について概略を講述する。
言葉と建築行為	3	理論や思想における言葉と建築行為において用いられる言葉の比較を通して、実践的な行為としての建築設計における言葉の意義を考察する。
描画と建築的思考	3	スケッチ、ダイアグラム、ドローイング、作図、などの描画と建築的思考の関係を考察する。
模型と建築的思考	3	模型製作や立体的なシミュレーション手法を通して得られる建築的思考の広がりを考察する。
建築的思考の可能性	5	言葉・描画・模型という未来を構想するため人類に与えられた方法の検証を通して、建築的思考の可能性を議論する。

教科書

『建築学のすすめ』traverse 編集委員会編、昭和堂、2015 年
『芸術心理学の新しいかたち』子安増生編、誠信書房、2005 年

参考書等

『ぼんやり空でも眺めてみようか』竹山聖、彰国社、2007 年
『独身者の住まい』竹山聖、廣済堂出版、2002 年

履修要件

特に問わない。他研究科、他専攻の学生の参加も歓迎する。